

○障がいのある方の就労に関する調査 調査結果

【1.調査概要】

(1) 調査の目的

本調査は障がい者の就労状況等の実態を把握し、障がい者の雇用促進及び就労支援に向けた支援策を検討するための基礎資料とするために実施。

(2) 調査の対象者

美作市内に住所を有する18歳から65歳の方で、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の内、いずれか一つでも交付を受けている方

(3) 調査方法

郵送調査（記名式）

(4) 回答状況

①全体

| 送付件数 | 回答件数 | 回答率 |
|------|------|-------|
| 540 | 286 | 53.0% |

②年代別

| | 送付件数 | 回答数 | 回答率 |
|-----|------|-----|-------|
| 10代 | 13 | 3 | 23.1% |
| 20代 | 101 | 52 | 51.5% |
| 30代 | 86 | 51 | 59.3% |
| 40代 | 104 | 53 | 51.0% |
| 50代 | 123 | 60 | 48.8% |
| 60代 | 113 | 67 | 59.3% |

③手帳種類別

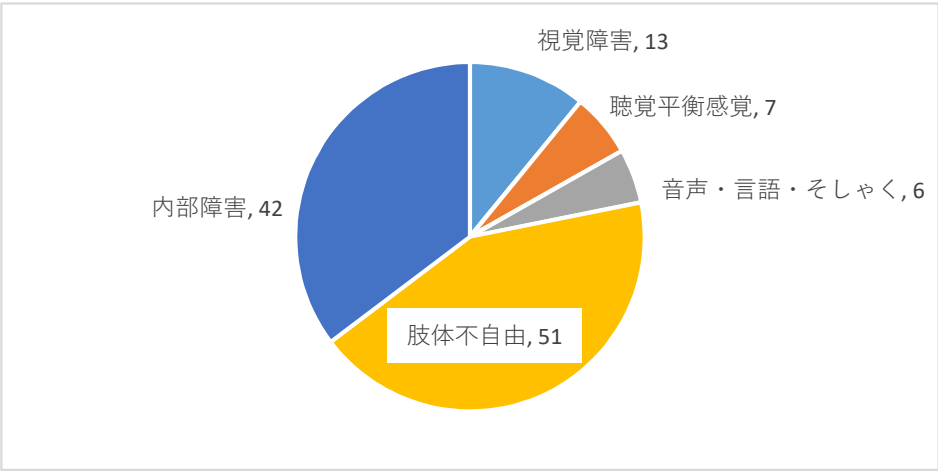
| | 送付件数 | 回答数 | 回答率 |
|------|------|-----|-------|
| 身体1級 | 79 | 48 | 60.8% |
| 身体2級 | 37 | 12 | 32.4% |
| 身体3級 | 17 | 8 | 47.1% |
| 身体4級 | 55 | 23 | 41.8% |
| 身体5級 | 17 | 7 | 41.2% |
| 身体6級 | 18 | 10 | 55.6% |
| 療育A | 28 | 27 | 96.4% |
| 療育B | 134 | 85 | 63.4% |
| 精神1級 | 9 | 6 | 66.7% |
| 精神2級 | 119 | 64 | 53.8% |
| 精神3級 | 27 | 13 | 48.1% |

【2.障がいの状況について】

(1) 身体障害者手帳保有者の障がいの種別（問2）

回答者の内、身体障害者手帳を保有する方の障がい種別をみると、肢体不自由が最も多く51人（42.9%）、次いで内部障害が42人（35.3%）であった。

| 障害種別 | 人数 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| 視覚障害 | 13 | 10.9% |
| 聴覚平衡感覚 | 7 | 5.9% |
| 音声・言語・そしゃく | 6 | 5.0% |
| 肢体不自由 | 51 | 42.9% |
| 内部障害 | 42 | 35.3% |
| 計 | 119 | 100% |

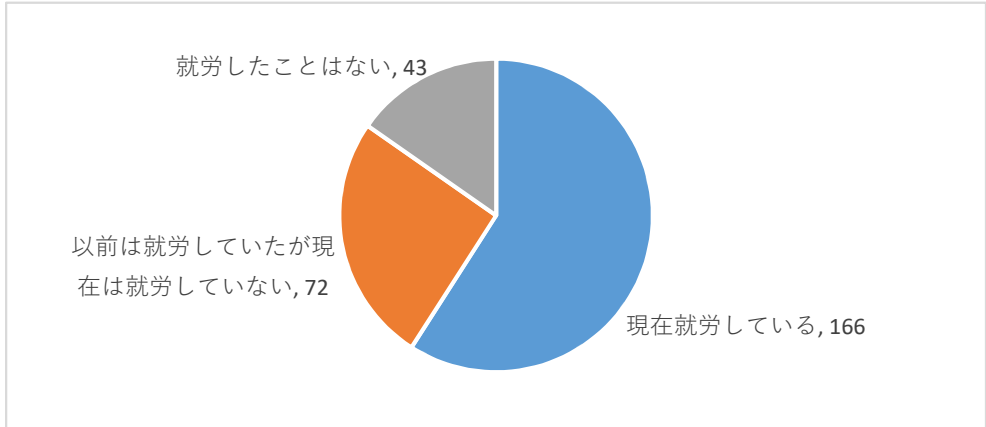


【3.現在の就労について】

(1) 就労状況について（問3）

回答者の就労状況は「現在就労している」が最も多く166人（59.1%）、次いで「以前は就労していたが現在は就労していない」が72人（25.6%）であった。「就労したことはない」は43人（15.3%）であった。

| 就労状況 | 人数 | 割合 |
|----------------------|-----|-------|
| 現在就労している | 166 | 59.1% |
| 以前は就労していたが現在は就労していない | 72 | 25.6% |
| 就労したことはない | 43 | 15.3% |
| 計 | 281 | 100% |



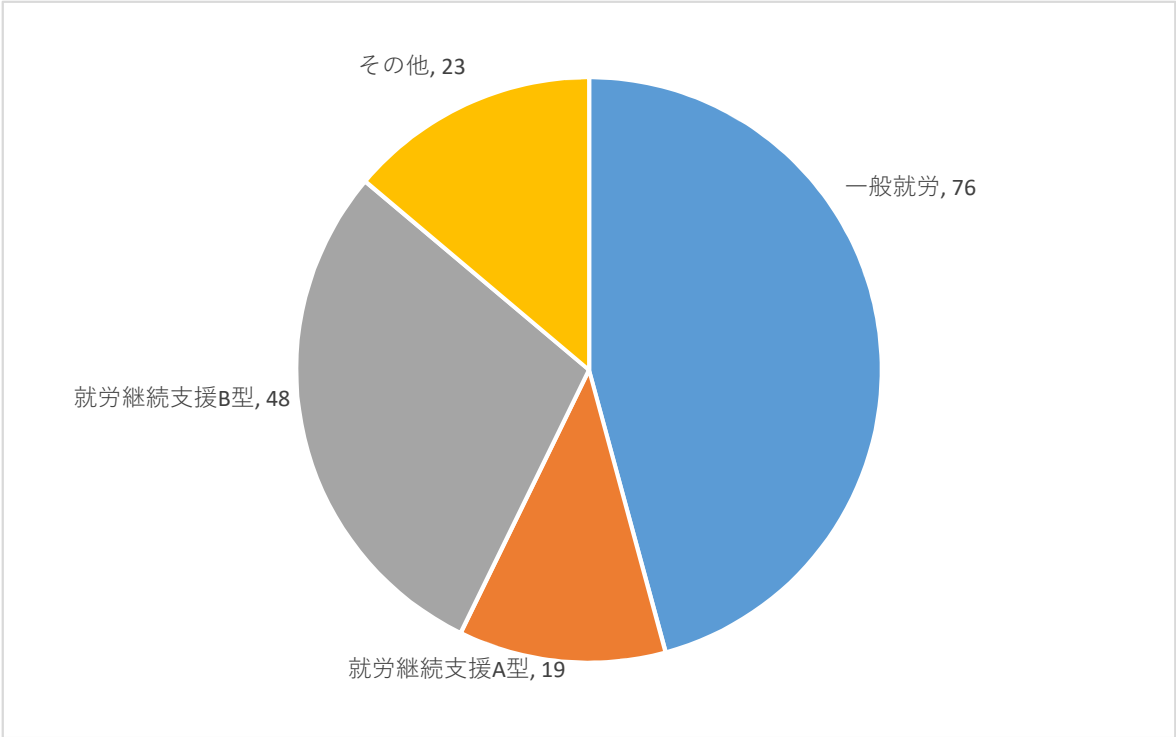
(2) 就労の形態（問4-1）

現在就労していると回答した人の就労形態は、「一般就労」が最も多く76人、次いで「就労継続支援B型」が48人であった。

| 就労形態 | 人数 |
|----------|-----|
| 一般就労 | 76 |
| 就労継続支援A型 | 19 |
| 就労継続支援B型 | 48 |
| その他 | 23 |
| 計 | 166 |

※その他

自営業6人、障害者雇用4人、生活介護事業所2人、アルバイト2人、トライアル雇用1人、小規模作業所3人、就労移行支援事業所1人、就労継続支援B型事業所の在宅ワーク1人、自分にあった仕事を探す1人、無回答2人



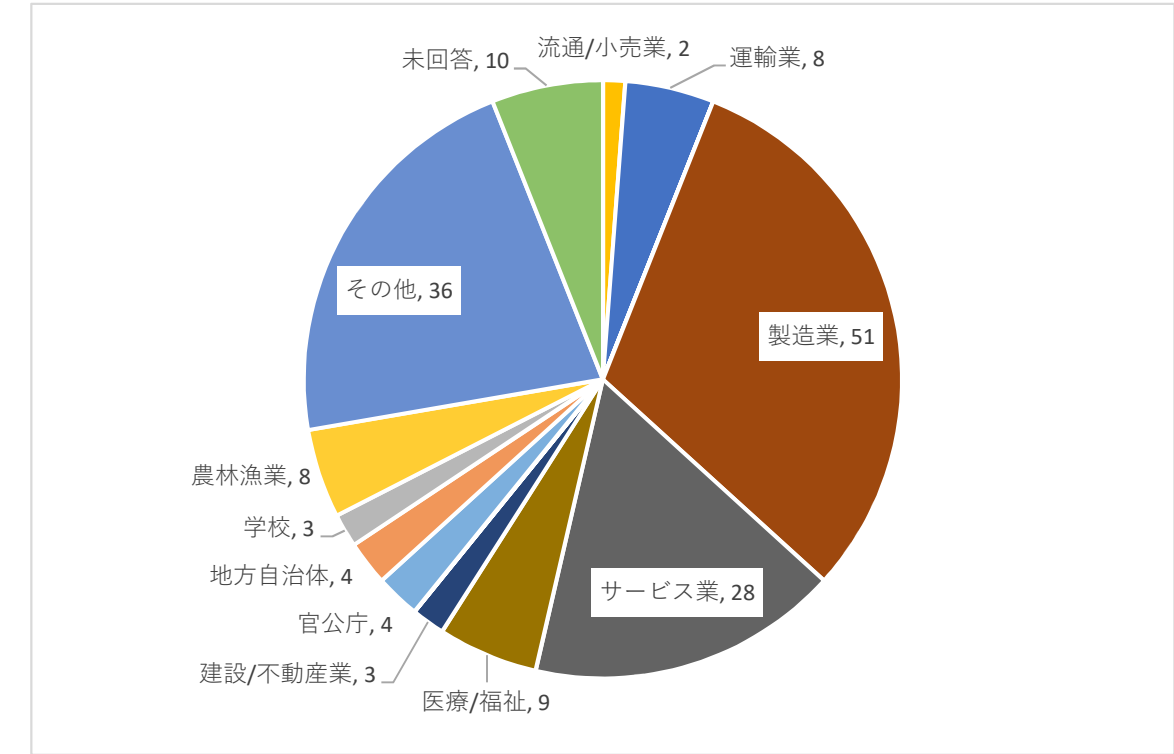
(3) 現在就労している方の職業（問4-2）

就労している人の職業を見ると、製造業が一番多く51人、次いでサービス業が28人であった。「通信販売業」「金融/保険業」「通信業」「旅行業」「電力/ガス/水道」「放送/出版/マスコミ」は0人であった。

| (人) | |
|------------|-----|
| 通信販売業 | 0 |
| 金融/保険業 | 0 |
| 通信業 | 0 |
| 流通/小売業 | 2 |
| 運輸業 | 8 |
| 旅行業 | 0 |
| 電力/ガス/水道 | 0 |
| 製造業 | 51 |
| サービス業 | 28 |
| 医療/福祉 | 9 |
| 建設/不動産業 | 3 |
| 放送/出版/マスコミ | 0 |
| 官公庁 | 4 |
| 地方自治体 | 4 |
| 学校 | 3 |
| 農林漁業 | 8 |
| その他 | 36 |
| 未回答 | 10 |
| 計 | 166 |

※その他

飲食1人、自動車整備1人、農業1人、就労移行支援事業所1人、内職4人、なし1人、フルーツキャップ2人、習字教室1人、事務員1人、清掃業1人、袋詰作業1人、検査3人、ノバキャップ作業1人、パンの販売1人、環境1人



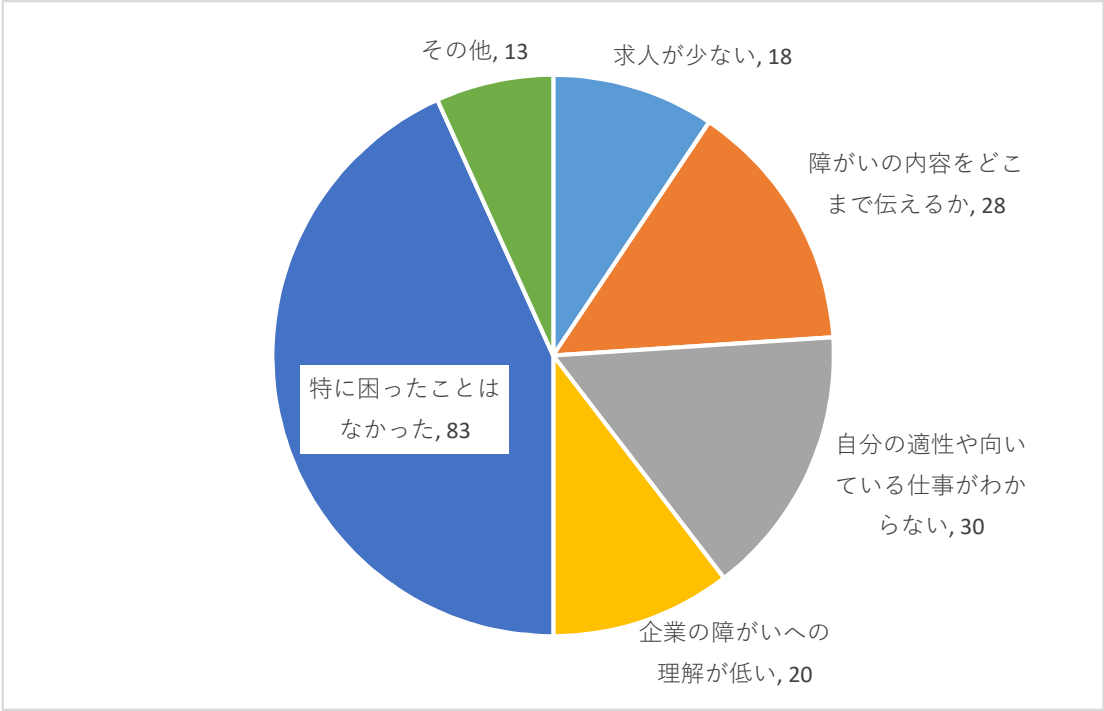
(4)現在の勤務先への就職活動中に困ったこと（問4-3）（複数回答）

現在の勤務先への就職活動の際に困ったことについて、「特に困ったことはなかった」が最も多く83人、次いで「自分の適性や向いている仕事かわからない」が30人、「障がいの内容をどこまで伝えるか迷った」が28人と続いた。

「その他」の回答として、うつ病があるからあまり話ができている、職場環境や作業などが自分の適性に向いているかどうか、体調によって作業が続けられるかどうか、募集時の就労条件が障害があると伝えた後フルタイムからパートにかわった、苦手なこと、ものを伝えても支援する側に細かにニュアンスまで伝わりづらい、障がいの内容を伝えていいのかわからない、勤務時間が異常（2：50～16：00）ハローワークの求人では（8：00～17：00）だった、収入が少ない等の回答があった。

(人)

| | |
|---------------------|-----|
| 求人が少ない | 18 |
| 障がいの内容をどこまで伝えるか迷った | 28 |
| 自分の適性や向いている仕事かわからない | 30 |
| 企業の障がいへの理解が低い | 20 |
| 特に困ったことはなかった | 83 |
| その他 | 13 |
| 計 | 192 |

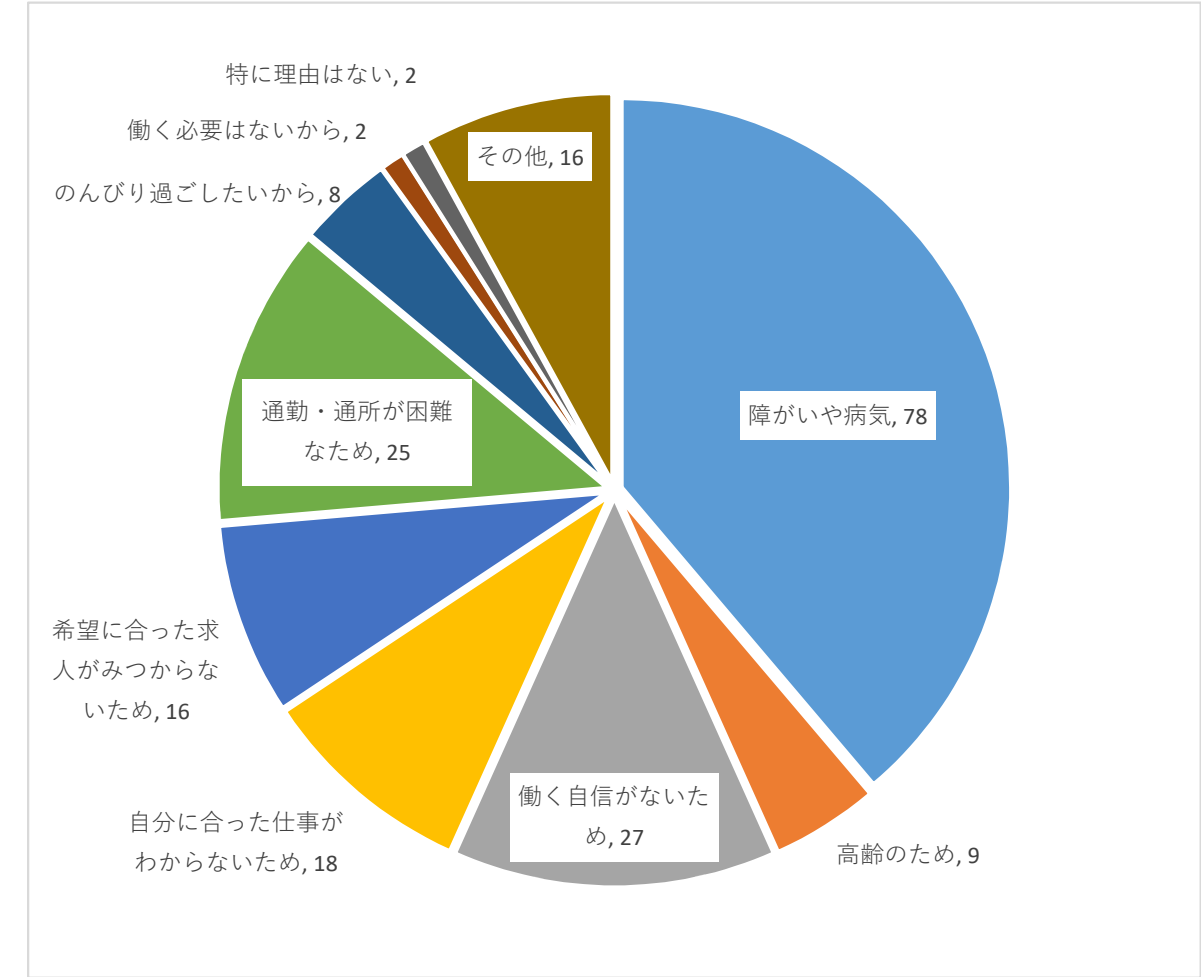


(5) 就労していない理由（問5-1）（複数回答）

就労していない理由で最も多かったのは「障がいや病気」で78人、次いで「働く自身がいないため」が27人、「通勤・通所が困難なため」が25人と続く。「働く必要がない」「特に理由はない」が最も少なくどちらも2人であった。

| (人) | |
|-------------------|-----|
| 障がいや病気 | 78 |
| 高齢のため | 9 |
| 働く自身がいないため | 27 |
| 自分に合った仕事が見つからないため | 18 |
| 希望に合った求人がみつからないため | 16 |
| 通勤・通所が困難なため | 25 |
| のんびり過ごしたいから | 8 |
| 働く必要はないから | 2 |
| 特に理由はない | 2 |
| その他 | 16 |
| 計 | 201 |

その他
有償ボランティアをして就労へ、外に出るのが怖いときがあるから、腎盂炎で尿道カテーテルをつけているから、体調を崩しやすいため、母の介護、市の任用職員だったが民間の指定管理会社になった1年後私を含め障がい者2名が解雇された、障がいが高く一生寝たきり、以前通所の所でいじめがあり対処してくれなかった、家の手伝、現在は生活介護でお世話になっている、就労支援を受けている、血圧が高いため、外に出れない



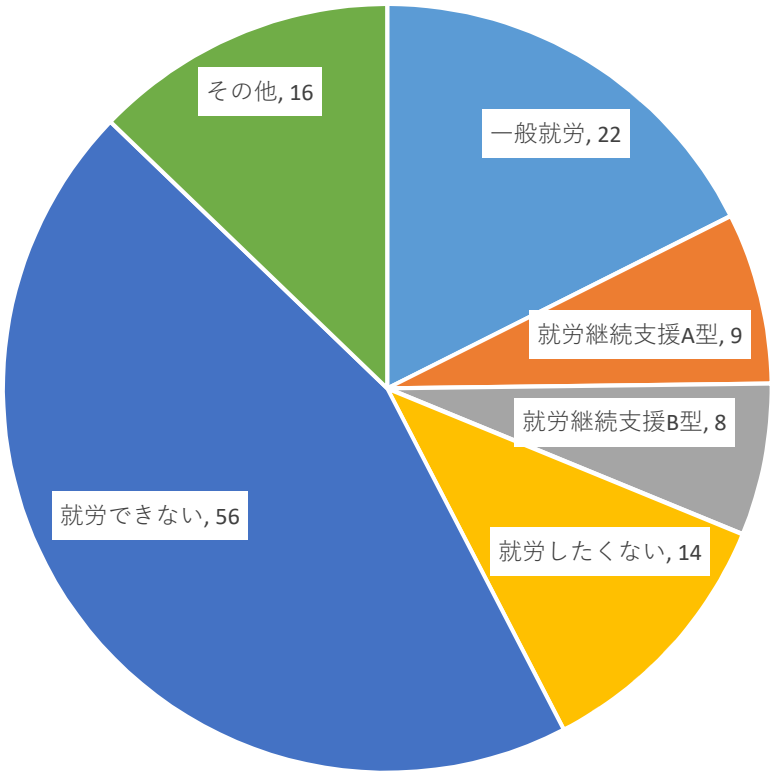
(6) 就労の希望状況（問5-2）（複数回答）

就労の希望状況について、最も多かったのは「就労できない」で56人、次いで「一般就労」で22人であった。「一般就労」「就労継続支援A型事業所」「就労継続支援B型事業所」の合計は39人で全体の31.2%の方が何らかの形での就労を希望している結果となった。

(人)

| | |
|----------|-----|
| 一般就労 | 22 |
| 就労継続支援A型 | 9 |
| 就労継続支援B型 | 8 |
| 就労したくない | 14 |
| 就労できない | 56 |
| その他 | 16 |
| 計 | 125 |

その他
事務職・保育・支援、華の先生、軽作業、データ入力、ない、わからない



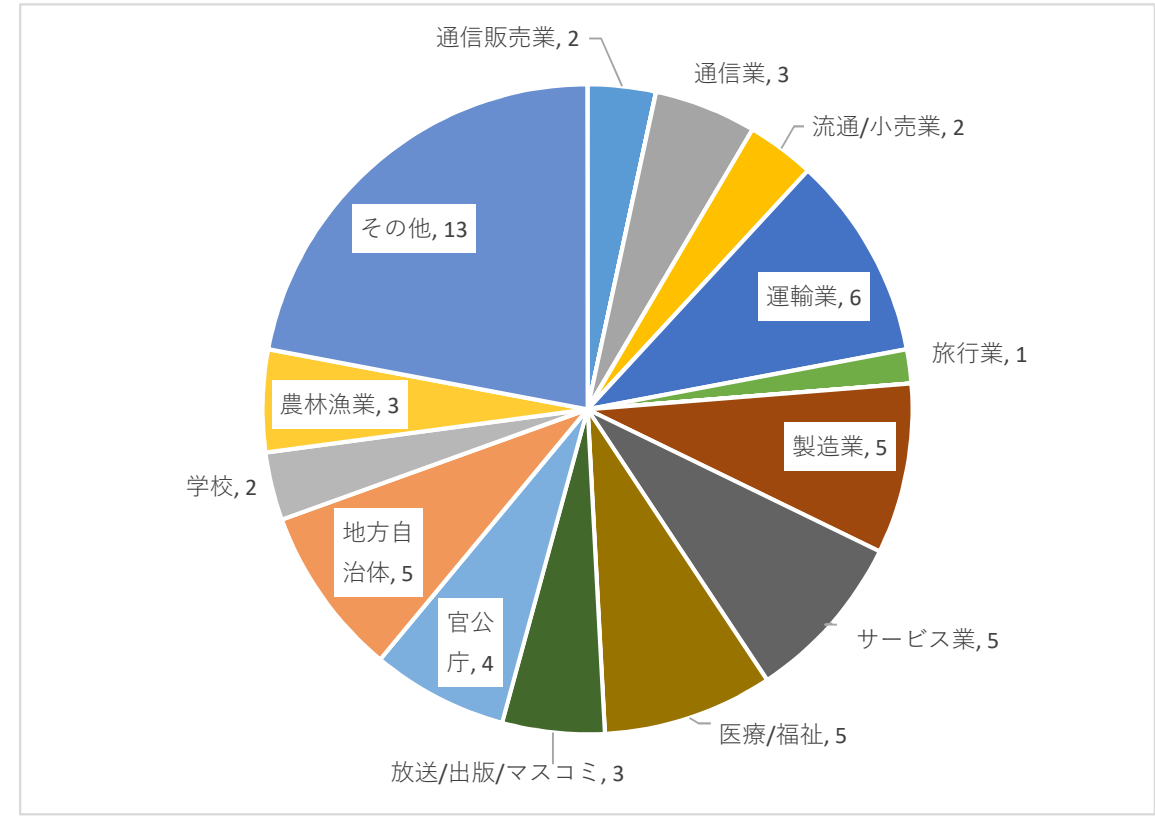
(7) 就労を希望する業種（問5-3）（複数回答）

就労を希望する業種をみると、「その他」を除き最も回答が多かったのは「運輸業」で6人、次いで「製造業」「サービス業」「医療/福祉」「地方自治体」がそれぞれ5人であった。「金融/保険業」「電力/ガス/水道」「建設/不動産業」と回答された方はいなかった。

(人)

| | |
|------------|----|
| 通信販売業 | 2 |
| 金融/保険業 | 0 |
| 通信業 | 3 |
| 流通/小売業 | 2 |
| 運輸業 | 6 |
| 旅行業 | 1 |
| 電力/ガス/水道 | 0 |
| 製造業 | 5 |
| サービス業 | 5 |
| 医療/福祉 | 5 |
| 建設/不動産業 | 0 |
| 放送/出版/マスコミ | 3 |
| 官公庁 | 4 |
| 地方自治体 | 5 |
| 学校 | 2 |
| 農林漁業 | 3 |
| その他 | 13 |
| 計 | 59 |

その他
障害者枠から始めたい、もう少し体の調子がよくなったら考えたいかもしれない、就労後勤務先に迷惑がかかるかもしれない、在宅ワーク、親の介護手伝い（運転手）、就労できるようになればしたい、わからない、家で農業、就労したいが仕事がない、就労したくても自分に合った仕事がない、家の手伝い・出来る事・物があれば取り組ませてみたい



(8) 障がいがある方が働きやすい環境のために必要なことについて（問6）（複数回答）

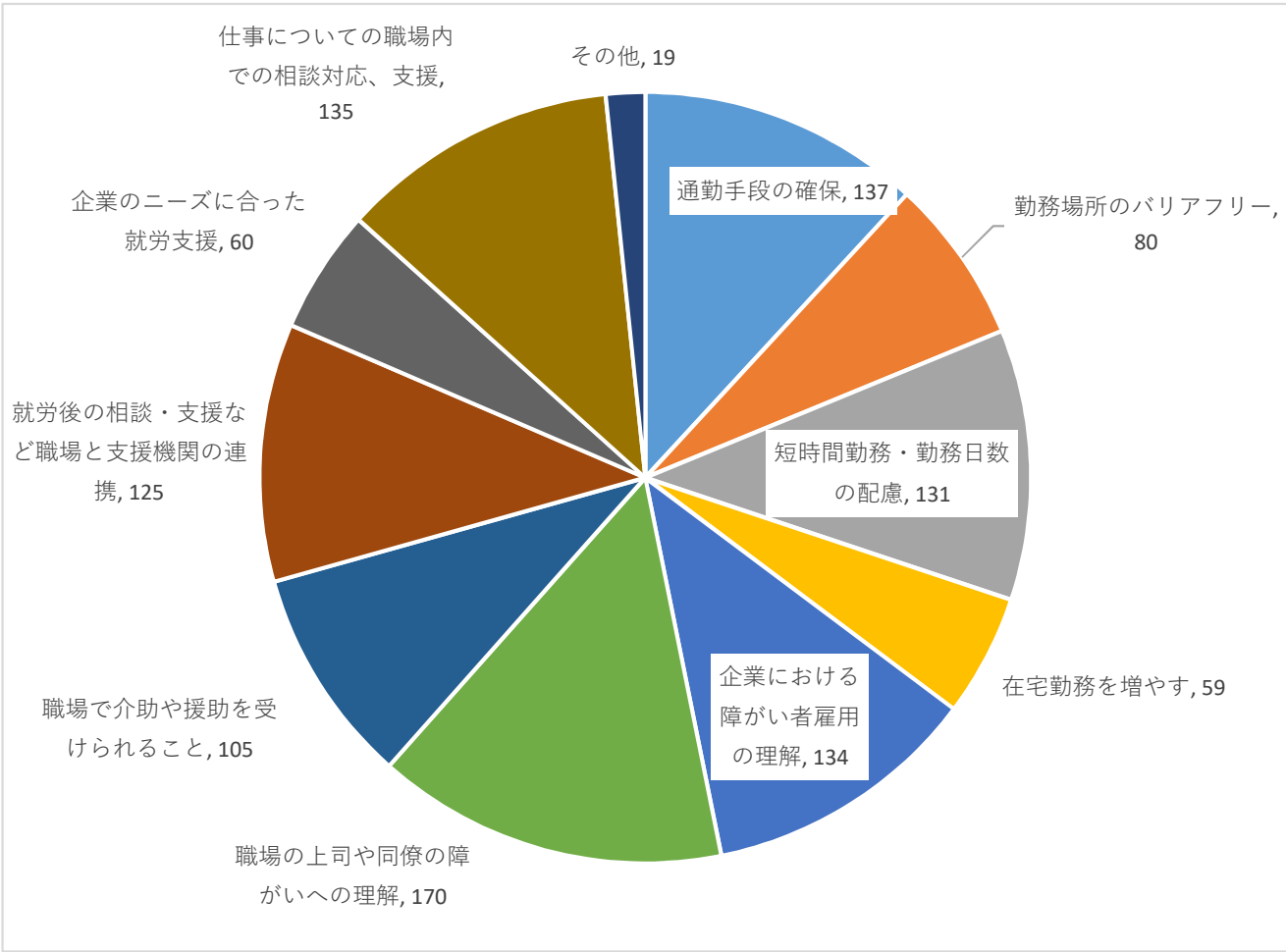
障がいのある方が働きやすい環境のために必要なことについて、「職場の上司や同僚の障がいへの理解」が最も回答が多く170人、次いで「通勤手段の確保」が137人、「仕事についての職場内での相談対応・支援」が135人と続いた。「在宅勤務を増やす」、「企業のニーズにあった就労支援」と回答した方が最も少なく59人、60人であった。

(人)

| | |
|-----------------------|------|
| 通勤手段の確保 | 137 |
| 勤務場所のバリアフリー | 80 |
| 短時間勤務・勤務日数の配慮 | 131 |
| 在宅勤務を増やす | 59 |
| 企業における障がい者雇用の理解 | 134 |
| 職場の上司や同僚の障がいへの理解 | 170 |
| 職場で介助や援助を受けられること | 105 |
| 就労後の相談・支援など職場と支援機関の連携 | 125 |
| 企業のニーズに合った就労支援 | 60 |
| 仕事についての職場内での相談対応、支援 | 135 |
| その他 | 19 |
| 計 | 1155 |

その他

環境調整（作業に集中しやすいような環境作り・しきり・ちょっと1人になって休憩できるような部屋・個室）、上から目線を考えること、研修・地元の方との交流、年なのでもう考えていない、仕事に支障のない職場、個人自営業なのでこのままでよい、家庭環境を理解してもらえる職場、自営業に対しての保障、復帰したい（職場からの復帰要請有り）、障害者自身がもっと自分をオープンにして語る（できること、できない事、こうしてほしいという要望など）、障害者用トイレ、なし



【3.障がい者雇用率】

回答者の障害者雇用率を 「就業している方」 / 「就業している方」 + 「就業を希望する方」 で計算。

【就業している方】

問3 ：「現在就労している」 +

問5-2：「一般就労したい」「就労継続支援A型を利用したい」「就労継続支援B型を利用したい」「その他」の内すでに就労している人

| | |
|----------|-----|
| 現在就労 | 166 |
| 就労希望内就労済 | 11 |
| 計 | 177 |

【就業している方 + 就業を希望する方】

問3：「1現在就労している」 +

問5-2：「1一般就労したい」「2就労継続支援A型を利用したい」「3就労継続支援B型を利用したい」「4その他（14人の内5人）」

| | |
|------|-----|
| 現在就労 | 166 |
| 就労希望 | 32 |
| その他 | 5 |
| 計 | 203 |

【就業している方】 177人 ÷ 【就業している方 + 就業を希望されている方】 203人

= 87.2%